

## (公社) いわき青年会議所 財政局長運営方針 (案)

財政局長 山口 宗之

1 いわき J C が公益法人格へ移行して 6 年が経つ中で、地域への適切な開示や透明性ある  
2 法人運営、公共性に重点をおいた事業や財務管理を維持することで、社会的信頼を確固と  
3 するべく邁進してきました。その中で様々な経験と知識を得て組織力を高めてきましたが、  
4 後続への継承においては、在籍年数の短期化により、充分とはいえない現状があります。  
5 そのため、未来を見据えた人財育成を通して、組織を盤石なものとする必要があります。

6 まずは、年会費や各自治体の補助金などの公的財源や民間の寄付金などの貴重な財源を  
7 適切に管理しつつ、各事業において、公益性やリスクマネジメントへの助言等に重点を置  
8 き、各々の委員会が運動を最大限発揮できる財務体制を築きます。そして、公益法人とし  
9 て、地域に対し法人運営の透明性を図るために、経理に対する帳簿、正当性を立証する証  
10 憑書類を法令・定款および会計規則に基づき適切に保管し閲覧ができるように整備すると  
11 ともに情報広告を随時行います。さらに、資金管理においては、会の運営が円滑に行われ  
12 る予算編成、会計に関する帳簿の記録と整理・確認を行い、収支のバランスがとれたキャ  
13 ッッシュフローの管理を徹底します。また、いわき J C の未来を見据えた人財を育成し、組  
14 織力を向上させるために、各委員会には議案書マニュアルの周知徹底を行います。そして、  
15 財政規則審査会議の厳格かつ適切な運営をすることによって、会員会費や公的財源を運用  
16 する重要性を理解してもらい、地域にとって、効果的な運動を計画・発信・展開できる人  
17 財となるように各委員会と真摯に向き合い、より多くの成長ができる機会を創出します。

18 財政およびコンプライアンスを適切に管理するとともに、未来を見据えた人財を育成し、  
19 知識や意識を高めることによって、公益法人としての組織力強化に繋がり、地域から求め  
20 られる J C 運動を展開することで、活気溢れた持続可能ないわきへの進化を実現します。

### 21 22 <運営方針>

- 23 1. いわき J C 財源の確立及び特別会員の拡大
- 24 2. 年度予算案及び年度末決算書の作成
- 25 3. 諸事業の予算及び決算の精査
- 26 4. 金銭帳簿の作成及び管理
- 27 5. 監事との連携・調整
- 28 6. 会議・委員会への指導及び支援
- 29 7. 議案作成マニュアルの改良及び会議・委員会への浸透
- 30 8. その他財政業務に関する事

31